

首都圏を洪水から守る調節池

広い河川敷につくられた荒川第一調節池

ときとして、大雨のあとなどに、おそろしい洪水が流れる荒川では、下流部に一度に洪水が押し寄せないように、洪水を受けとめる広い高水敷や横堤が中流部にもうけられています。

荒川第一調節池は、この高水敷の一部を堤防でかこみ、受けとめた洪水を一時的にためることで、より安全に洪水を流す施設です。洪水がないふだんの調節池は、多くの人ができる草花が豊かな広場や公園などとして利用されています。

貯水池の名前は「彩湖」
「彩の国」埼玉を代表するような大きな湖であることから、「彩湖」という名前が選ばれました。



▲「彩湖」記念碑



▲洪水をためる荒川第一調節池

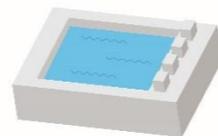


荒川第一調節池は、本堤(左岸堤)と囲繞堤に囲まれた5.8km²の区域です。その中には、ふだんもかっ水に備えて水をためる貯水池「彩湖」や、みんなが利用できる公園があります。

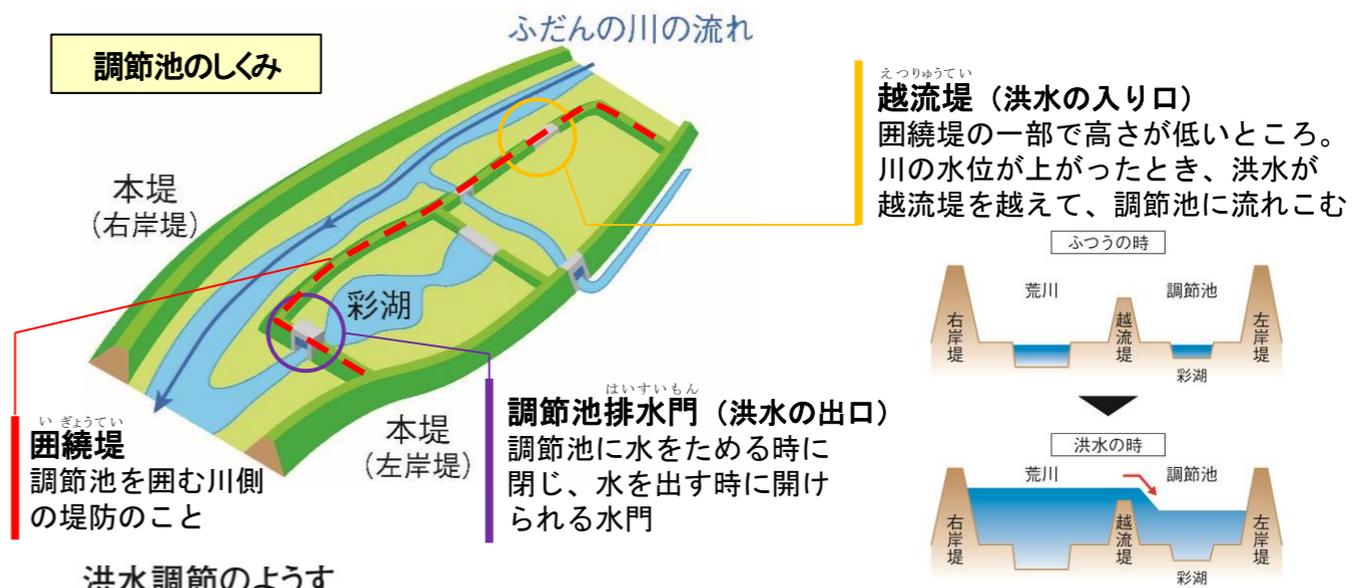
荒川第一調節池の大きさ

- 広さ5.8km²
= 蕨市の面積とほぼ同じ
- たまる水の量
3900万m³
= 学校プール

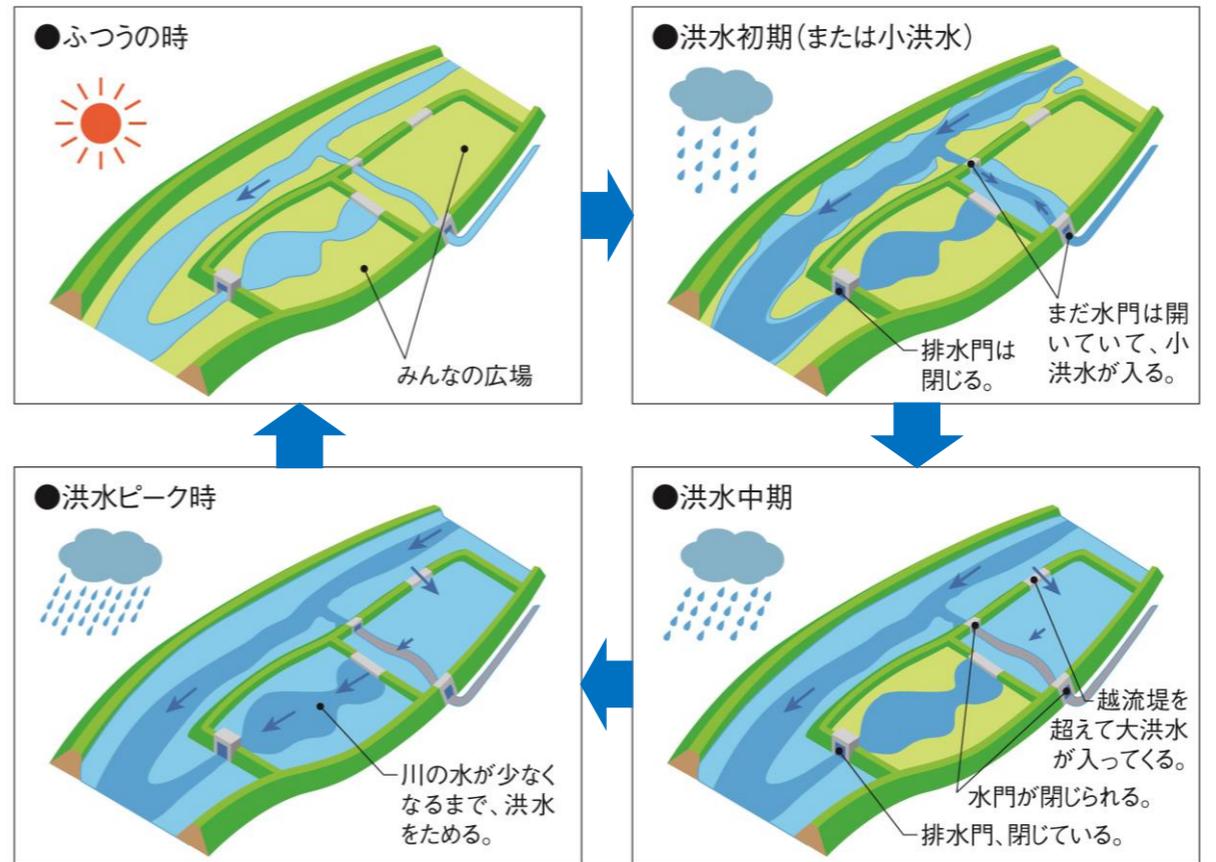
15万6千杯



調節池のしくみ



洪水調節のようす



川の豆知識

貴重なサクラソウも守る荒川第一調節池

絶滅が危ぐされる貴重な植物=サクラソウは、年に数回、洪水につかれないと育つことのできない珍しい植物です。荒川第一調節池内には、国の天然記念物に指定される田島ヶ原自生地があり、水門などの操作で、適度の洪水がかかるよう工夫されています。



▲春にかわいいピンクの花を咲かせるサクラソウ。